



令和元年12月27日
大阪航空局鹿児島空港事務所

鹿児島空港におけるA2-BCPの策定について

大規模な自然災害が発生した際に、空港関係機関が連携し、迅速かつ的確な対応を行い、「自然災害に強い鹿児島空港」を形成することを目的とした、鹿児島空港におけるBCP（業務継続計画）を「鹿児島空港におけるA2-BCP協議会」により策定いたしました。

平成30年9月、関西空港では、台風21号による滑走路やターミナルビル等への大規模浸水や連絡橋への船舶の衝突等、新千歳空港では、北海道胆振東部地震による旅客ターミナルビルへの電力供給の停止等、これまで我が国の空港として経験したことのないような大規模な自然災害が発生しました。

これにより、我が国の航空ネットワークを維持するために空港の関係機関が個別に対応するのではなく、空港全体として一体となって対応していくための計画として、各空港において、「A2（Advanced/Airport）-BCP」を策定し、自然災害に強い空港づくりを目指していくこととなりました。

鹿児島空港における「A2-BCP」は、空港利用者の安全・安心の確保を目的とした「滞留者対応計画」及び航空ネットワークを維持するための滑走路・旅客ターミナルビル等の空港施設の「早期復旧計画」からなる基本計画（B-Plan）に加え、空港を機能させるために必要となる「電力」、「通信」、「上下水」、「燃料」、「空港アクセス」、「ガス」といった6つの機能別の喪失時対応計画（S-Plan）、及び「貨物施設復旧計画」を策定し、自然に強い鹿児島空港を目指すものとなっています。

[鹿児島空港におけるA2-BCP（概要版）](#)

問い合わせ先：国土交通省 大阪航空局 鹿児島空港事務所 峯村

電話番号 0995-58-4440 FAX 0995-58-4466